

12月の保育のねらい 報恩(ごおん)

- ・親鸞様のご苦労なされた話を聞く。
- ・親鸞様の喜んでくださるような子どもになる。
- ・困っている人に対してのお手伝いの方法を考える。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・友達と一緒に共通の目的を持って集団で遊ぶ楽しさを味わう。

ひまわり・れんげ組

- ・寒さに負けず友達や保育士と体を動かして遊ぶ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 あそびにおいで	4 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	5 身体測定 (ひまわり)	6 身体測定 (れんげ) 布団・ズック 持ち帰り	7
8	9	10	11 予行練習 10:00~	12	13 布団・ズック 持ち帰り	14 報恩講・ 生活発表会 修了児記念撮影
15	16 愛情弁当	17 あそびにおいで	18 避難訓練	19 絵本デー (ふじ・さくら)	20 布団・ズック 持ち帰り	21
22	23 郵便ごっこ (23日~27日) 集金袋持ち帰り	24	25	26 誕生会	27 保育終了 (通常保育) 布団・ズック 持ち帰り	28 希望保育
29	30 休園 (1月3日まで 休園)	31 休園 1月4日は 希望保育				



給食献立表 12月分

2日 (月)	カレイの煮付け 肉もやし炒め れんこんサラダ
3日 (火)	ミニミンチカツ 大根と里芋のそぼろ煮 レタスサラダ
4日 (水)	ハムステーキ 芋天 スパゲティーサラダ
5日 (木)	豆腐ナゲット しらたき炒め 白菜のピーナッツ和え
6日 (金)	茶碗蒸し 肉ギョーザ ごぼうサラダ
9日 (月)	豚団子 五目青豆煮 わかめの酢の物
10日 (火)	玉子サラダフライ すき焼き風煮 マロニーサラダ
11日 (水)	鯖の立田揚げ ベーコンもやし炒め カニカマ野菜サラダ
12日 (木)	鶏の照り焼き 冬瓜のおかか煮 マカロニサラダ
13日 (金)	呉汁 小煮しめ ポテトサラダ
16日 (月)	愛情弁当 誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いします。
17日 (火)	白身フライ 中華野菜炒め 白和え
18日 (水)	タンドリーチキン 青菜の炒め煮 根菜コロコロサラダ
19日 (木)	カレー汁 福神漬け 玉子焼き 中華風酢の物
20日 (金)	ちくわ二色天 冬至南瓜 春雨サラダ
23日 (月)	きびなごサクサク揚げ マカロニグラタン 大根サラダ
24日 (火)	ポークチャップ 卵の花 ツナ野菜サラダ
25日 (水)	星のコロッケ 金平ごぼう ゆで豚と野菜のサラダ
26日 (木)	チキンライス クリームシチュー ゆでブロッコリー ゼリー
27日 (金)	春巻 炒り玉子 白菜のおかか和え

* 13日は報恩講メニューの日です。お齋を作ります。

* 26日は誕生会です。チキンライスを作りますので、主食は要りません。

* 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ちください。

* 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

12月21日は冬至です。冬至の日にはかぼちゃを食べる習慣があります。昔は、冬至のころになると秋野菜の収穫も終わり、食べ物がとても少なくなりました。かぼちゃは夏にとれますが保存が利くので「元気に冬が過ごせますように」との願いを込めて、とっておいたかぼちゃを貴重な栄養源として食べたそうです。かぼちゃにはカロテンという栄養素がたくさん含まれており、体の中でビタミンAになり、皮膚や粘膜を強くし、風邪の予防に役立つ野菜です。

<お知らせ>

- *12月11日(水)の午前10時から報恩講・生活発表会の予行練習を予定しています。
さくら組…10:00から、たんぽぽ組…10:40から、ふじ組…11:10からを予定しています。
当日見に来る事が出来ない方やおじいちゃん、おばあちゃんもご都合がよろしければ見に来てください。
- *年末は、12月27日(金)通常保育(延長保育有り)とさせていただきます。28日(土)は希望保育です。
- *保育開始は、令和7年1月4日(土)からです。4日(土)は、希望保育となりますので愛情弁当・水筒をお持たせください。
- *1月の園だよりは1月4日(土)に配信します。

<お願い>

*駐車場について

玄関横の障害者用を含め、3台は保護者の方に停めて頂きたいと思います。空いている時は駐車してください。危険な事もありますので、必ずお家の方が先に降りてお子様と一緒に登園、道路を歩く時はしっかり手をつないで先にお子様を車に乗せてからお家の方も車に乗られるようお願い致します。

ふじ・さくら・たんぽぽ組より

- *引き続き、水筒をお願いします。
- *寒くなってきましたが9時までには登園してください。園でも生活リズムを整え元気に生活していきたいと思いますのでご協力をお願いします。
- *防寒着等のループ(掛けるひも)を付けてきてください。
- *持ち物に名前を書いてください。特に、衣類は枚数が多いので把握しきれません。
肌着、靴下等にも書いてください。時々、お部屋で着替えの確認をお願いします。
- *スーパーの袋・ナイロン袋を持ち帰りましたら、持ち帰った枚数分持って来てください。



お部屋の中では…

ふじ組



日に日に寒くなってきましたが、ふじ組の子ども達は元気一杯。戸外では泥団子作りや宝石みたいな石探し。又、お部屋の中では折り紙等を楽しんでいます。先日の修園旅行はバスで京都まで行きました。待ちに待っていた事もありハイテンションでお話が盛り上がっていました。西本願寺ではあまりの大きさにびっくりしたのかお参りは緊張していた様子でした。ルールを守って行動する姿が見られ、成長を感じられる1日になりました。最近では劇の練習に励んでいます。セリフも覚えてきました。保育園最後の生活発表会楽しみにしてくださいね。

さくら組



最近の遊びで子ども達が夢中になっているのは、男の子は積木で作るピタゴラ装置！ビー玉を転がすにはどうしたら上手くいくのか？とお友達と試行錯誤しながら作り、成功して大喜び!!しています。女の子は工作で”かわいい”ものづくりをしていて、自分達で工夫して紙を切ったりテープを使ってネイルを作ったり宝石を作ったり…お友達とのやりとりを楽しみながら遊んでいます。そして、発表会に向けては『どうぞのいす』の絵本のお話の劇の練習をしています。初めは恥ずかしそうにしていたのが今は少しずつ自信がついてきたようで台詞を大きな声で言えるようになったり「劇したい!」「たんぼ組さんに見てもらいたい!」と楽しみにしている姿がよく見られます。本番に向け練習を頑張っていきたいと思います。

たんぼぼ組



今お部屋でかくれんぼ遊びを楽しむたんぼぼ組さん。一度みんなでやってみた所「またやりたい!」とみんな楽しむ姿がみられ、毎日のように「今日もかくれんぼしよう!」「鬼したい!」「ジャンケンやで」と子ども達が言うようになりました。初めはみんなが誰がどこに隠れているか教えてしまう姿も見られていたのですが、ルールを教えると鬼が見つかる事や見つからないようにどこに隠れるといいかな?と見つけたり見つからないドキドキワクワク感がたまらないと楽しんでいます。そんな子ども達の姿を発表会でも出来たら…と思い『くろくんとふしぎなともだち』の絵本をアレンジして、かくれんぼ・ジャンケン・色・体操・歌を取り入れて、今発表会に向けて練習をしています。緊張するとは思いますが、毎日頑張っている子ども達の姿を応援し、発表会でも楽しんで出来たらと思います。

ひまわり組



今月も戸外や園庭に出て遊びました。手をつないで歩いているとトンボが空にたくさん飛んでいる様子を見て保育士と一緒にトンボの歌を口ずさんだり、ひっつき虫や杉の葉を見つけて秋の自然物に興味を持ちながら遊んでいました。また、ふじ組さんが育てたさつまいもでいもちをクッキングしていきました。午睡明けのおやつで食べると「おいしいね😊」と言いながら食べていました。秋の食材にもだんだんと興味を持つようになってきたひまわり組さんです。

れんげ組(1歳児)



肌寒い日が続くようになりましたが、天気の良い日は外に出て寒さに負けず元気に走り回っています。室内ではさつまいもを使ってクッキングをしたり焼き芋も食べ「おいも、きいろい!」「かたいかな〜」と興味をもって、秋の食材にも触れていく事が出来、「おいし〜!」と大喜びの子ども達でした。これからどんどん寒さが増していきます。体調に気をつけながら、冬の季節を楽しんでいきたいと思います。

れんげ組(0歳児)



グラウンド・漆器会館(中庭)・小学校・農道(田んぼ)・中山公園と散歩コースを回って遊んできました。伸び伸びと動き回ったり、石ころや枯葉・排水溝に興味を示しのぞき込んだり、ポトリと物を落としたり、水の流れを目で追ったり、自然を感じながら遊ぶ事が出来ました。段々寒くなると戸外へ出る機会は減ってしまいますが体調を見て出掛けてみたいと思います。

絵本のすすめ

ようやく秋らしくなったと思ったら、朝晩の寒さに冬の気配を感じるようになりましたね。そんな中でも子どもたちは、寒さに負けず元気いっぱい！また、大きいクラスの子どもたちは、生活発表会に向けて練習をがんばっている真っ最中です。子どもたちと一緒に、どんな劇遊びをしていこうかと、今まで読んできた絵本を振り返ったり、好きなお話を決めてどんな表現にしようかと考え、少しずつ形にしながら進めていくのですが、一つのお話の世界にみんなで入り込んで自分たちで演ずることは、幼児期ならではの楽しみでもあると思います。劇遊びのきっかけにもなる絵本。絵本の醍醐味って、ストーリーももちろん大切ですが、やっぱり“絵”が一緒にあることでお話の世界にスッと入っていけるところかな…と私は思います。また、読む度に新しい発見がある絵本も多く、一度読んだら終わりではなく、何度も読み返したくなる絵本に出会えたら最高ですね。

去る10月、『ぐりとぐら』の作者、なかがわりえこさんと、『おばけのてんぷら』の作者、せなけいこさんがお亡くなりになりました。どちらも名作で、お父さんお母さんも子どもの頃に一度は読んだことがあるのではないのでしょうか？この2冊も私の中では読み返したくなる絵本で、何と言っても、ぐりとぐらが力を合わせて作る大きなカステラ！そして、うさぎが一から準備して、おばけに邪魔されているとは知らず、おもしろおかしくてんぷらを作る行程がなんとも楽しく、どちらもおいしそうで最後まで見飽きず、お話の世界に引き込まれます。

追悼の意も込めて2冊挙げてみましたが、他にも手に取って頂きたい絵本がたくさんあります。きっと、お休み前の読み聞かせを習慣にしているご家庭が多いのでは？と思うのですが、もちろん読み聞かせは、どの時間でもいいし、お子さんの「これ読んで！」にすぐ応えてあげられるのも理想です。親子で一緒に、絵本の世界を共有し合えるなんて、最高の時間ですよ。読み聞かせを通して、「今、この子は〇〇に興味があるんだな…」とか「文字を拾って読めるようになってきたな…」などと、発見や成長を感じることもあるでしょう。年中・年長さんぐらいなら「ママは〇〇と思ったけど、あなたはどう思った？」なんて感想を伝え合うこともステキです。そして、生活の中での実体験がそのまま絵本で再現されているようなお話に出会うと、その時の感情が蘇って主人公と自分を重ねては、不思議と力が湧くものです。

読書の秋と言いますが、季節天候関係なく気軽に手を伸ばせる絵本。大人が読んで、奥深さがあつたり、ほっこりさせられるものです。保育園時代のかけがえのない時間を、どうか大切に！まずは今日の1冊をお子さんと選んでみてください。

